

3 今月の青果物

にんじん

主要産地のにんじんの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2023年度3月入荷量	2023年度3月シェア率
千葉	1,590 t	28.8 %
徳島	2,928 t	53.1 %
鹿児島	289 t	5.2 %
埼玉	182 t	3.3 %

今後の競合産地の動向は？

東京都中央卸売市場におけるにんじんの月別入荷量が最多となる都道府県は、千葉県(11月～2月)→徳島県(3月～5月)→千葉県(6月)→青森県→(7月)→北海道(8～10月)となっています。このように、主要産地が全国各地を推移していくことで産地リレーが実現し、年間をととして安定供給が可能となっています。

産地リレーにおいては、産地間の切り替わりがスムーズに行われ、需要を満たす量の供給が保たれることが重要です。例えば、昨年は冬の千葉県産が早めに切り上がったものの、その後の徳島県産は降雨でトンネル作の播種及び出荷開始が遅れ、その後も入荷は少なく、春夏の千葉県産も5月中旬以降の入荷量が伸び悩み、青森県や北海道の入荷が始まるまで数量減・単価高の状況が続き、価格が高騰しました。

今作では、千葉県産冬にんじんは収穫期の天候の影響から前進出荷となり、2月下旬時点ですでに終盤となっています。徳島県産はおおむね生育順調で3月上旬から出荷が始まるため、産地リレーはおおむねスムーズに行われる見込みですが、12月播種分の生育が寒さによりやや遅れ気味となっており、瞬間的に流通量が少なくなる可能性があります。

3月入荷予測	5,300t(前年比96.1%、平年比85.1%)		
3月価格予測	230円(前年比112.8%、平年比150.0%)		
3月市況予測	(上旬) 強保合 ↗	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 強保合 ↗

